

平成 1 9 年度

県立病院事業会計決算見込み

平成 1 9 年 1 2 月

平成19年度決算見込みについて

1. 病院事業全体

① 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	26,457	26,725	▲ 268	▲ 1.0	25,605	851	3.3
医業収益	22,750	23,041	▲ 291	▲ 1.3	21,827	923	4.2
入院収益	17,955	17,815	140	0.8	16,971	983	5.8
外来収益	3,687	4,071	▲ 384	▲ 9.4	3,753	▲ 66	▲ 1.8
一般会計繰入金	759	759	0	0.0	758	0	0.1
その他	350	397	▲ 47	▲ 11.9	345	5	1.5
医業外収益	3,706	3,684	23	0.6	3,778	▲ 72	▲ 1.9
一般会計繰入金	3,615	3,615	0	0.0	3,615	0	0.0
その他	91	69	23	32.9	163	▲ 72	▲ 44.2
病院事業費用	27,523	28,138	▲ 614	▲ 2.2	27,317	206	0.8
医業費用	25,758	26,291	▲ 533	▲ 2.0	25,487	271	1.1
給与費	12,353	12,311	42	0.3	12,197	156	1.3
材料費	6,696	6,877	▲ 182	▲ 2.6	6,526	170	2.6
(うち医療材料費)	6,473	6,648	▲ 175	▲ 2.6	6,312	161	2.5
経費	3,952	4,428	▲ 476	▲ 10.7	4,038	▲ 86	▲ 2.1
減価償却費	2,595	2,536	59	2.3	2,581	14	0.5
その他費用	162	139	22	16.2	145	17	11.5
医業外費用	1,766	1,847	▲ 81	▲ 4.4	1,831	▲ 65	▲ 3.5
支払利息	1,111	1,145	▲ 35	▲ 3.0	1,168	▲ 57	▲ 4.9
その他	655	701	▲ 46	▲ 6.6	663	▲ 8	▲ 1.2
収支差	▲ 1,067	▲ 1,413	346	—	▲ 1,712	645	—

② 患者数見込み

(単位：人、%)

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
延入院患者数	408,425	432,890	▲ 24,465	▲ 5.7	402,667	5,758	1.4
宮崎病院	157,804	171,550	▲ 13,746	▲ 8.0	161,413	▲ 3,609	▲ 2.2
延岡病院	146,674	148,190	▲ 1,516	▲ 1.0	139,604	7,070	5.1
日南病院	93,397	94,900	▲ 1,503	▲ 1.6	88,208	5,189	5.9
富養園	10,550	18,250	▲ 7,700	▲ 42.2	13,442	▲ 2,892	▲ 21.5
延外来患者数	412,877	480,935	▲ 68,058	▲ 14.2	402,854	10,023	2.5
宮崎病院	164,119	169,050	▲ 4,931	▲ 2.9	154,651	9,468	6.1
延岡病院	118,277	151,900	▲ 33,623	▲ 22.1	115,841	2,436	2.1
日南病院	117,767	143,325	▲ 25,558	▲ 17.8	117,725	42	0.0
富養園	12,714	16,660	▲ 3,946	▲ 23.7	14,637	▲ 1,923	▲ 13.1

③ 特記事項（病院事業全体）

病院事業全体の収支は、10億67百万円の純損失の見込み
～ 経営改善が進んだ昨年度より更に改善する見込みであり、
中期経営計画の今年度目標を上回る改善を達成する見込み

- ・ 収支 (計画比 +3億46百万円の改善見込み)
(前年度比+6億45百万円の改善見込み)

病院事業収益は、計画比では、外来収益が計画を下回ったため、2億68百万円下回る見込み。前年度比では、延入院患者数の増及び7対1入院基本料の通年効果等による入院収益の増により、8億51百万円の増の見込み

<主な増減要因>

- ・ 入院収益の増加(計画比 + 1億40百万円)
(前年度比 + 9億83百万円)
- ・ 外来収益の減少(計画比 ▲ 3億84百万円)
(前年度比 ▲ 66百万円)

病院事業費用は、計画比では、経費等が計画を下回ったため、6億14百万円下回る見込み。前年度比では、患者増に伴う材料費の増等により、2億6百万円の増の見込み

<主な増減要因>

- ・ 給与費の増加(計画比 + 42百万円)
(前年度比 + 1億56百万円)
※ 退職給与金(前年度比) +2億55百万円
- ・ 材料費の減少(計画比 ▲ 1億82百万円)
(前年度比 + 1億70百万円)
※ 医療材料費(前年度比) +1億61百万円

(参考) 4病院の診療材料調達業務の委託化を行い、材料費の節減に取り組んでいる。(11月～)

- ・ 経費の減少(計画比 ▲ 4億76百万円)
(前年度比 ▲ 86百万円)

延患者数は、計画は下回るが、入院、外来ともに前年度より増加の見込み

- ・ 延入院患者数 408,425人(計画比 24,465人 ▲5.7%)
(前年度比 5,758人 +1.4%)
- ・ 延外来患者数 412,877人(計画比 68,058人 ▲14.2%)
(前年度比 10,023人 +2.5%)

2. 病院別

(1) 宮崎病院

① 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	10,670	10,417	253	2.4	10,778	▲ 108	▲ 1.0
医業収益	9,396	9,155	241	2.6	9,491	▲ 95	▲ 1.0
入院収益	7,470	7,291	179	2.5	7,576	▲ 106	▲ 1.4
外来収益	1,511	1,437	74	5.1	1,496	15	1.0
一般会計繰入金	303	303	0	0.0	303	0	0.0
その他	111	124	▲ 12	▲ 10.1	116	▲ 5	▲ 3.9
医業外収益	1,274	1,262	12	1.0	1,287	▲ 12	▲ 1.0
一般会計繰入金	1,222	1,222	0	0.0	1,222	0	0.0
その他	52	40	12	31.3	64	▲ 12	▲ 19.4
病院事業費用	10,645	10,687	▲ 42	▲ 0.4	10,711	▲ 66	▲ 0.6
医業費用	10,161	10,196	▲ 35	▲ 0.3	10,186	▲ 25	▲ 0.2
給与費	4,804	4,913	▲ 109	▲ 2.2	4,747	57	1.2
材料費	2,833	2,712	121	4.5	2,898	▲ 65	▲ 2.2
(うち医療材料費)	2,748	2,618	130	5.0	2,811	▲ 62	▲ 2.2
経費	1,703	1,846	▲ 143	▲ 7.7	1,718	▲ 15	▲ 0.9
減価償却費	718	665	53	8.0	766	▲ 48	▲ 6.3
その他	102	60	43	71.6	56	46	82.8
医業外費用	484	491	▲ 6	▲ 1.3	525	▲ 41	▲ 7.8
支払利息	235	236	▲ 2	▲ 0.7	262	▲ 27	▲ 10.3
その他	250	254	▲ 5	▲ 1.9	264	▲ 14	▲ 5.3
収支差	25	▲ 270	295	—	67	▲ 42	—

② 経営指標の見込み

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	84.7	90.9	▲ 6.2	—	85.9	▲ 1.2	—
2. 平均在院日数(日)	15.2	H22 17.0以下	▲ 1.8	—	15.3	▲ 0.1	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	47,342	42,500	4,842	11.4	46,936	406	0.9
(2) 外来	9,212	8,500	712	8.4	9,674	▲ 462	▲ 4.8
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	51.1	53.7	▲ 2.6	—	50.0	1.1	—
(2) 医療材料費	29.2	28.6	0.6	—	29.6	▲ 0.4	—
5. 経常収支比率(%)	100.2	97.5	2.7	—	100.6	▲ 0.4	—

③ 特記事項

宮崎病院 ～ 25百万円の純利益の見込み
(対計画比 +2億95百万円、対前年度比 ▲42百万円)

〔概要〕

○ 延患者数は、入院・外来ともに計画を下回るが、前年度比では、入院が減少し外来は増加する見込みである。

一方、診療単価は、入院・外来ともに計画を上回り、前年度比では、高度医療の増加や7対1入院基本料の通年効果等により入院単価は前年度を上回るが、外来単価は下回る見込みである。このため、計画に比べ

- ・ 入院収益 + 1億79百万円
- ・ 外来収益 + 74百万円

前年度比は、

- ・ 入院収益 ▲ 1億6百万円
- ・ 外来収益 + 15百万円

(参考) 1万点以上の手術件数 1,476件 (H18上期) → 1,495件 (H19上期)

○ 法定福利費の増(共済追加費用の増)等に伴い、前年度に比べ、給与費が増加する見込みであるが、計画は下回る見込みである。

- ・ 計画比 ▲ 1億9百万円
- ・ 前年度比 + 57百万円

○ 入院患者数減に伴う医療材料費の減により、前年度に比べ材料費が減少する見込みであるが、計画を上回る見込みである。

- ・ 計画比 + 1億21百万円
- ・ 前年度比 ▲ 65百万円

○ 委託費の見直し等に伴い、前年度に比べ経費が減少する見込みであり、また、計画も下回る見込みである。

- ・ 計画比 ▲ 1億43百万円
- ・ 前年度比 ▲ 15百万円

〔診療機能の見直し等〕

○ 医師の確保

外科1名を確保した。(6月)

○ 医療安全管理者の設置

医療事故を防止し、安全で質の高い医療を提供するため、部署を超えた組織的な取組の推進を図ることを目的として、医療安全管理者を設置した。(4月)

○ 「がん相談窓口」の設置

患者や家族からの「がん」に関する疑問や不安に関する相談窓口として、電話による「がん相談窓口」を開設(4月)

(2) 延岡病院

① 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	9,582	9,759	▲ 177	▲ 1.8	8,960	622	6.9
医業収益	8,468	8,642	▲ 174	▲ 2.0	7,788	679	8.7
入院収益	6,903	6,861	42	0.6	6,250	653	10.4
外来収益	1,148	1,367	▲ 219	▲ 16.0	1,137	11	1.0
一般会計繰入金	271	271	0	0.0	271	0	0.0
その他	146	143	3	2.1	131	15	11.8
医業外収益	1,114	1,117	▲ 3	▲ 0.3	1,172	▲ 58	▲ 4.9
一般会計繰入金	1,097	1,097	0	0.0	1,097	0	0.0
その他	17	21	▲ 3	▲ 15.7	75	▲ 58	▲ 76.9
病院事業費用	9,912	10,093	▲ 181	▲ 1.8	9,665	247	2.6
医業費用	9,123	9,277	▲ 153	▲ 1.7	8,864	260	2.9
給与費	4,138	3,908	230	5.9	4,030	108	2.7
材料費	2,592	2,892	▲ 300	▲ 10.4	2,478	114	4.6
(うち医療材料費)	2,517	2,817	▲ 300	▲ 10.7	2,408	109	4.5
経費	1,268	1,338	▲ 70	▲ 5.2	1,263	5	0.4
減価償却費	1,094	1,096	▲ 2	▲ 0.2	1,038	56	5.4
その他	31	43	▲ 11	▲ 26.1	55	▲ 23	▲ 42.7
医業外費用	789	817	▲ 28	▲ 3.4	801	▲ 12	▲ 1.5
支払利息	541	541	▲ 1	▲ 0.1	558	▲ 18	▲ 3.2
その他	248	275	▲ 27	▲ 9.9	243	6	2.4
収支差	▲ 330	▲ 334	4	—	▲ 705	374	—

② 経営指標の見込み

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	87.5	88.3	▲ 0.8	—	83.1	4.4	—
2. 平均在院日数(日)	15.8	H22 14.0以下	1.8	—	14.6	1.2	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	47,067	46,300	767	1.7	44,772	2,295	5.1
(2) 外来	9,711	9,000	711	7.9	9,814	▲ 103	▲ 1.0
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	48.9	45.2	3.7	—	51.7	▲ 2.8	—
(2) 医療材料費	29.7	32.6	▲ 2.9	—	30.9	▲ 1.2	—
5. 経常収支比率(%)	96.7	96.7	0.0	—	92.4	4.3	—

③ 特記事項

延岡病院 ～ 3億30百万円の純損失の見込み (対計画比 +4百万円、対前年度比 +3億74百万円)

〔概要〕

○ 延患者数は、入院・外来ともに計画は下回るが、紹介患者の増等により、前年度に比べ、入院・外来ともに増加する見込みである。

一方、診療単価は、入院・外来ともに計画を上回り、前年度比では、高度医療の増加や7対1入院基本料の通年効果等により入院単価は前年度を上回るが、外来単価は下回る見込みである。このため、計画に比べ

- ・ 入院収益 ～ + 42百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 2億19百万円

また、前年度比においては、増加する見込みである。

- ・ 入院収益 ～ + 6億53百万円
- ・ 外来収益 ～ + 11百万円

(参考) 1万点以上の手術件数 1,099件 (H18上期) → 1,182件 (H19上期)

○ 法定福利費（共済追加費用の増）や退職給与金等の増に伴い、前年度に比べ給与費が増加する見込みであり、計画も上回る見込みである。

- ・ 計画比 + 2億30百万円
- ・ 前年度比 + 1億8百万円

○ 入院患者数及び手術件数の増に伴い、前年度に比べ材料費が増加する見込みであるが、計画は下回る見込みである。

- ・ 計画比 ▲ 3億円
- ・ 前年度比 + 1億14百万円

○ 産休、育休の代替看護師の増員による賃金等の増により、前年度に比べ経費が増加する見込みであるが、計画は下回る見込みである。

- ・ 計画比 ▲ 70百万円
- ・ 前年度比 + 5百万円

〔診療機能の見直し等〕

○ 医師の確保

神経内科1名及び心臓血管外科1名を確保した。(6月)

○ 救命救急センターの診療室の増設

良質で高度な医療を提供するため、救命救急センターの診療室の増設を行った。(11月)

(3) 日南病院

① 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	5,386	5,611	▲ 225	▲ 4.0	5,015	371	7.4
医業収益	4,544	4,780	▲ 236	▲ 4.9	4,173	370	8.9
入院収益	3,416	3,416	0	0.0	2,959	457	15.4
外来収益	878	1,075	▲ 197	▲ 18.3	959	▲ 81	▲ 8.5
一般会計繰入金	160	160	0	0.0	160	0	0.0
その他	90	128	▲ 38	▲ 29.7	96	▲ 6	▲ 6.0
医業外収益	842	831	11	1.3	841	1	0.1
一般会計繰入金	824	824	0	0.0	824	0	0.0
その他	18	7	11	147.5	18	1	4.3
病院事業費用	5,972	6,138	▲ 165	▲ 2.7	5,750	222	3.9
医業費用	5,494	5,618	▲ 124	▲ 2.2	5,261	232	4.4
給与費	2,674	2,623	51	1.9	2,514	160	6.4
材料費	1,182	1,195	▲ 13	▲ 1.1	1,053	129	12.2
(うち医療材料費)	1,127	1,147	▲ 20	▲ 1.7	1,008	120	11.9
経費	866	1,030	▲ 164	▲ 15.9	923	▲ 58	▲ 6.3
減価償却費	748	739	9	1.2	740	8	1.0
その他	24	31	▲ 7	▲ 21.5	31	▲ 7	▲ 21.5
医業外費用	479	520	▲ 41	▲ 7.9	489	▲ 10	▲ 2.1
支払利息	334	367	▲ 33	▲ 8.9	346	▲ 12	▲ 3.4
その他	144	153	▲ 9	▲ 5.7	143	1	1.0
収支差	▲ 587	▲ 527	▲ 60	—	▲ 735	149	—

② 経営指標の見込み

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率(%)	90.8	92.9	▲ 2.1	—	79.1	11.7	—
2. 平均在院日数(日)	16.6	H22 19.0以下	▲ 2.4	—	17.6	▲ 1.0	—
3. 患者一日あたり診療収入(円)							
(1) 入院	36,572	36,000	572	1.6	33,541	3,031	9.0
(2) 外来	7,455	7,500	▲ 45	▲ 0.6	8,143	▲ 688	▲ 8.4
4. 医業収益に対する割合(%)							
(1) 職員給与費	58.8	54.9	3.9	—	60.2	▲ 1.4	—
(2) 医療材料費	24.8	24.0	0.8	—	24.1	0.7	—
5. 経常収支比率(%)	90.2	91.4	▲ 1.2	—	87.2	3.0	—

③ 特記事項

日南病院 ～ 5億87百万円の純損失の見込み
(対計画比 ▲60百万円、対前年度比 +1億49百万円)

〔概要〕

○ 延患者数は、入院・外来ともに計画は下回るが、前年度に比べ、入院・外来ともに増加する見込みである。

一方、診療単価は、入院は計画を上回るが、外来は下回り、前年度比では、高度医療の増加や7対1入院基本料の通年効果等により入院単価は前年度を上回るが、外来単価は下回る見込みである。このため、計画に比べ

- ・ 入院収益 ～ 計画とほぼ同額
- ・ 外来収益 ～ ▲ 1億97百万円

また、前年度比においては、入院収益が増加する見込みである。

- ・ 入院収益 ～ + 4億57百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 81百万円

(参考) 1万点以上の手術件数 488件 (H18上期) → 534件 (H19上期)

○ 退職給与金等の増に伴い、前年度に比べ、給与費が増加する見込みであり、計画も上回る見込みである。

- ・ 計画比 + 51百万円
- ・ 前年度比 + 1億60百万円

○ 入院患者数及び手術件数の増等により、前年度に比べ、材料費が増加する見込みであるが、計画は下回る見込みである。

- ・ 計画比 ▲ 13百万円
- ・ 前年度比 + 1億29百万円

○ 委託費等の減により、前年度に比べ、経費が減少する見込みであり、計画も下回る見込みである。

- ・ 計画比 ▲ 1億64百万円
- ・ 前年度比 ▲ 58百万円

〔診療機能の見直し等〕

○ 循環器科の新設

高齢化の進展の早い、日南串間医療圏のニーズに対応するため、医師2名を確保し、循環器科を新設した。(4月)

○ 医師の確保

内科1名を確保した。(12月)

(4) 富養園

① 収支見込み

(単位：百万円、%)

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率	18年度実績	増減(実績比)	増減率
病院事業収益	819	938	▲ 119	▲ 12.7	852	▲ 34	▲ 4.0
医業収益	343	465	▲ 122	▲ 26.2	374	▲ 31	▲ 8.3
入院収益	166	246	▲ 80	▲ 32.5	186	▲ 20	▲ 10.8
外来収益	150	192	▲ 42	▲ 21.9	162	▲ 12	▲ 7.3
一般会計繰入金	25	25	0	0.0	24	0	2.0
その他	2	2	0	18.7	2	0	8.0
医業外収益	476	473	3	0.5	478	▲ 3	▲ 0.6
一般会計繰入金	472	472	0	0.0	472	0	0.0
その他	4	1	3	246.7	6	▲ 3	▲ 43.3
病院事業費用	994	1,220	▲ 226	▲ 18.5	1,191	▲ 197	▲ 16.6
医業費用	980	1,201	▲ 221	18.4	1,176	▲ 196	▲ 16.7
給与費	737	866	▲ 129	▲ 14.9	906	▲ 168	▲ 18.6
材料費	88	78	10	12.8	97	▲ 8	▲ 8.4
(うち医療材料費)	80	65	15	22.5	86	▲ 6	▲ 7.0
経費	115	213	▲ 98	▲ 46.0	133	▲ 18	▲ 13.4
減価償却費	36	37	▲ 1	▲ 2.7	38	▲ 2	▲ 6.1
その他	4	6	▲ 2	▲ 40.1	3	0	13.2
医業外費用	14	19	▲ 5	▲ 28.1	15	▲ 1	▲ 9.0
支払利息	1	1	0	0.1	1	▲ 0	▲ 24.2
その他	13	18	▲ 5	▲ 29.2	14	▲ 1	▲ 7.9
収支差	▲ 175	▲ 282	107	—	▲ 339	164	—

② 経営指標の見込み

区 分	19年度見込	19年度計画	増減(計画比)	増減率(%)	18年度実績	増減(実績比)	増減率(%)
1. 病床利用率 (%)	48.9	49.0	▲ 0.1	—	40.2	8.7	—
2. 平均在院日数 (日)	91.8	H22 71.0以下	20.8	—	102.2	▲ 10.4	—
3. 患者一日あたり診療収入 (円)							
(1) 入院	15,750	13,500	2,250	16.7	13,852	1,898	13.7
(2) 外来	11,791	11,500	291	2.5	11,039	752	6.8
4. 医業収益に対する割合 (%)							
(1) 職員給与費	214.9	186.4	28.5	—	242.1	▲ 27.2	—
(2) 医療材料費	23.3	14.0	9.3	—	22.9	0.4	—
5. 経常収支比率 (%)	82.4	76.9	5.5	—	71.6	10.8	—

③ 特記事項

富養園 ～ 1億75百万円の純損失の見込み
(対計画比 +1億7百万円、対前年度比 +1億64百万円)

〔概要〕

- 延患者数は、入院・外来ともに、計画及び前年度を下回る見込みである。
一方、診療単価は、入院・外来ともに計画及び前年度を上回る見込みである。
このため、計画に比べ、

- ・ 入院収益 ～ ▲ 80百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 42百万円

また、前年度比においても、ともに減少する見込みである。

- ・ 入院収益 ～ ▲ 20百万円
- ・ 外来収益 ～ ▲ 12百万円

(参考) 患者数減少の背景

* 長期入院患者の社会復帰促進、新たな病院（こころの医療センター）への円滑な移行を図るための転・退院の促進等に伴う患者数の減少

* 病棟再編等

※ 現員数は各月1日現在

	H17.3	H17.4	H17.10	H18.4	H18.10	H19.4
病棟数	6	5	4	3	2	1
病床数	268	208	159	102	81	59
看護師数	102	91	87	57	48	29

(参考) 児童思春期の専門医の退職に伴い、平成19年4月小児病棟を休止

- 病棟再編等に伴う職員数の減等により、給与費が減少する見込みである。
 - ・ 計画比 ▲ 1億29百万円
 - ・ 前年度比 ▲ 1億68百万円
- 病棟再編等に伴う光熱費等の減少等により、経費が減少する見込みである。
 - ・ 計画比 ▲ 98百万円
 - ・ 前年度比 ▲ 18百万円

〔診療機能の見直し等〕

- 休日及び時間外における救急患者の積極的な受け入れ
民間病院の診療体制が手薄になる休日、時間外における救急患者の積極的な受け入れに努めた。